第33-2302号　東日本中小企業経友会事業協同組合　2023年2月3日

東日本経友会通信

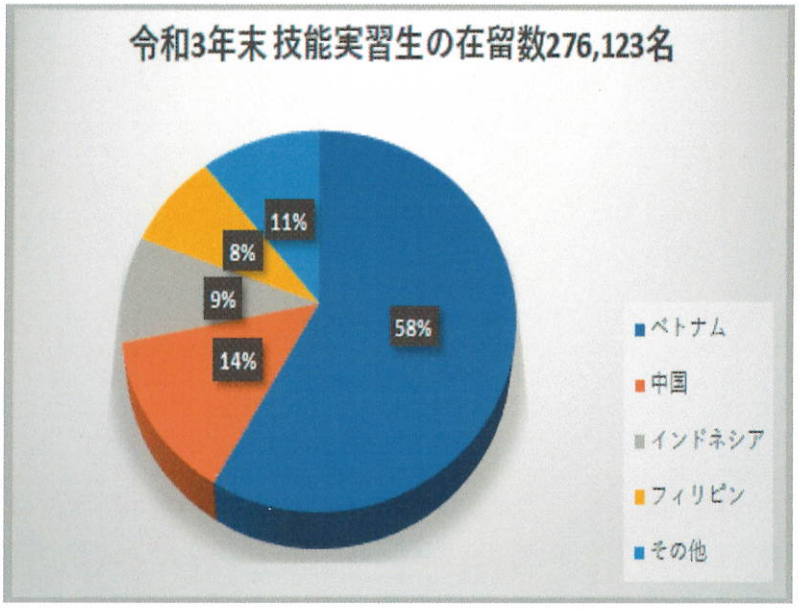
栃木県小山市城東1-6-32
TEL 0285-25-1000
http/www.ej-keiyukai.org

ともに挑み続ける
中小企業ビジネス
の未来へ

発行：東日本中小企業経友会事業協同組合　編集：事務局　監修　須藤　康則

アフターコロナのベトナム人技能実習生 在留状況及び失踪について

わが国では、この一〇年で技能実習生が急増し全国各地で広範な経済活動に組み込まれております。そして、現在は中国人に代わりその半数以上が、ベトナム人技能実習生であります。日越両国が長きに渡り経済分野を中心に緊密なパートナー関係を築いてきた結果と感じております。又、ベトナム側でも日本側で問題視していた保証金・借金問題に対し、昨年度、ベトナム政府が抜本的な見直し及び悪質な送出機関への指導・監視の強化を実施した結果、真面目に取り組んでいる送出機関に淘汰されたことにより、他国に流れていた実習生候補者が徐々にではありますが、日本への関心を取り戻していると聞いております。今後は、優秀な人材をより多く確保できるように、各送出機関は良い意味で切磋琢磨している状況が見受けられます。当組合にとっても良い傾向に向かっていると感じております。



2021年

「選ばれる国」日本に

「選ばれる会社」へ

スマートフォンで様々な情報を発信ができる状況下で起きていることは、大小問わず待遇や生活環境の良い企業は求人票を出すと地域を問わず沢山の候補者が集まります。給与等の待遇は当然ですが、良いことも悪いことも様々な情報が実習生個々より多方面に発信されております。当然、規制をすることはできませんので良い意味で宣伝してもらえるように我々も努力が必要です。

身体だけではなく心の健康もチェック

ベトナム人技能実習生の失踪問題がマスコミ等で報じられておりますが、他国に比べ、圧倒的に分母が大きい事が一つの理由です。但し、決して低い数字ではありません。

農業・建設等の募集しにくい業種を中心に、カンボジアやミャンマーに国替えをする企業がに増加傾向にありますが、失踪率を見る限り、慎重に検討する必要がございます。

（補足）　カンボジア・ミャンマー両国とも女性の失踪率は非常に低いです。

受入国	失踪者	在留数	割合
ベトナム	4,772	226,140	2.1%
中国	896	67,549	1.3%
カンボジア	667	10,260	6.5%
ミャンマー	447	14,830	3.0%
インドネシア	208	35,010	0.6%
タイ	74	11,036	0.7%
フィリピン	47	31,939	0.1%

※令和3年度技能実習生の失踪者数・率

「母国語支援」拡大中止してください

帰国後技能実習生フォローアップ調査

令和2年度の調査では、具体的に困ったこととして

1位　家族と離れて寂しい
2位　残業が少ない
3位　仕事の分担が良くない
4位　仕事が厳しい
5位　家賃が高い

他の回答は、「人との交流が無く孤独」「病気になった時困った」「仕事が忙しすぎる」「日本人からの精神的に嫌がらせを受けた」「日本人から暴力をふるわれた」等が少数ですが回答されております。

外国人技能実習生は、言葉・文化・生活様式・価値観が違う日本での生活に常にストレスがかかっている状態です。来日間もなくは緊張感から、気が張った状態ですがストレスがかかり続けると、不眠・体調不良等、少しずつ症状として現れてくることがあります。

当組合では、正社員・アルバイト等、全ての受入国の通訳を用意しております。実習生からいつもと違う「違和感」を感じたら母国語支援を是非、活用してください。